

『第 32 回熊本市民美術展 熊本アートパレード』

作品募集のお知らせ

新緑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は当館の事業にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

熊本市現代美術館では 9 月から開催の市民公募展『第 32 回熊本市民美術展 熊本アートパレード』の作品を募集いたします。

本展は、15 歳以上（中学生を除く）の熊本市在住・在学・在勤・熊本市出身者は、どなたでも無審査で作品を出品することができる展覧会です。

2020 年度の審査員は芸術ユニットの明和電機（めいわでんき）。テーマは、作品の規格が『「ポスト投函サイズ」であること』というユニークなものになりました。

市民のみなさんの、自由で豊かな発想のもと生み出される作品を多数ご応募いただきたいと思っておりますので、広くご紹介いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館しておりましたが、5 月 21 日（木）に再開館いたしました。

—審査員のメッセージより—

芸術作品の要素は大きくふたつあります。

ひとつは「なに“を”表現するか」（コンテンツ）。

もうひとつは「なに“で”表現するか」（メディア）です。

たとえば花を描いた絵画があるとします。それはある芸術家が花を見て感動し、その美しさを描きたい！と思って花の絵を描いたものです。この感動して描きたい！と思った部分が「なに“を”表現するか」という部分です。

芸術において、もっとも大切なことは、自分自身で「コンテンツ」を見つけることです。そこが芸術の本質であり、たくさんの芸術家がそこで悩み、試行錯誤をし、独自の表現を見つけていきました。

では、「メディア」に関する課題を決めるのはどうか、と考えたとき、これならばいけそうな気がしました。そこでさらにピンとひらめいたのが「ポスト投函サイズ」でした。

応募されるみなさんは、絵画・彫刻・書・映像・メディアアートなど様々だと思いますが、それらがすべて「ポスト投函サイズ」というメディアの課題を通して美術館に集まるとするのは、なんとも見てみたい世界です。この美術展を通して、芸術における「コンテンツ」と「メディア」の多様性について、ひとつの視点が見えてくるのではないかと思います。

みなさまのご応募をおまちしています。



明和電機 審査員プロフィール

土佐信道プロデュースによる芸術ユニット。
青い作業服を着用し作品を「製品」、ライブを「製品デモンストレーション」と呼ぶなど、日本の高度経済成長を支えた中小企業のスタイルで、様々なナンセンスマシーンを開発しライブや展覧会など、国内のみならず広く海外でも発表。

【募集要項】

審査員：明和電機

第 32 回テーマ：「ポスト投函サイズ」であること

* 作品内容についてのテーマは自由とします。

出品条件：

- 「ポスト投函サイズ」 = **34cm×25cm×3cm 以内、重さ 4kg 以内**
- 作品はたたんだり分解したりすることで上記のサイズ以内の箱に収まれば可。
展示の際には開封して展開し、大型化することも可とします。
- 作品受付は、当館への郵送もしくは直接持ち込みによるものとします。
いずれの際にも、上記のサイズ規定に適した箱に収納してご応募ください。
* 日本郵便の「レターパックライト」やヤマト運輸の「ネコポス」用の箱は、上記の規定サイズを満たしています。

*** 詳細は、募集要項をご覧ください。**

応募資格：15 歳以上（中学生を除く）の熊本市在住・在勤・在学者または熊本市出身者

出品料：無料

出品受付：

2020 年 9 月 2 日（水）～13 日（日）[必着]
熊本市現代美術館へ郵送もしくは直接持参

今回は、テーマ「ポスト投函サイズ」の作品のほか、フリー部門を別途設定し作品を同時募集いたします。
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました第 31 回熊本アートパレードへの出品予定であった作品もこちらに出品可能です。

[フリー部門]

本年度のテーマ「ポスト投函サイズ」の作品のほか、フリー部門として例年同様の規格の作品を同時に募集します。フリー部門の作品も「熊本アートパレード」の出展作品として全て展示されます。

出品点数は出品者 1 名につき「ポスト投函サイズ」と「フリー部門」に各 1 点までとします。

応募資格：15 歳以上（中学生を除く）の熊本市在住・在勤・在学者または熊本市出身者

出品料：無料

出品受付：

2020 年 9 月 19 日（土）、20 日（日）各 10:00～17:00
熊本市現代美術館 ギャラリー II

*** 詳細は、募集要項をご覧ください。**

【展覧会開催概要】

展覧会名：『第32回熊本市市民美術展 熊本アートパレード』

開催期間：令和2年（2020年）9月26日（土）～11月1日（日）

開館時間：10:00～20:00（展覧会入場は19:30まで）

※最終日は17:00閉場

休館日：火曜日

会場：熊本市現代美術館 ギャラリーⅠ・Ⅱ

主催：熊本市現代美術館 [熊本市・公益財団法人熊本市美術文化振興財団]

観覧料：無料



【関連イベント】

■表彰式・審査員講評会

講演者：明和電機（芸術ユニット）

日時：令和2年（2020年）9月26日（土）13:30～15:00

会場：熊本市現代美術館 ホームギャラリー

料金：無料



昨年の会場風景（参考）

お問い合わせ先

熊本市現代美術館（学芸担当：池澤、佐々木 広報担当：広報チーム）

〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3 tel:096-278-7500 fax: 096-359-7892

[HP] www.camk.jp [Twitter] [camk_kumamoto](https://twitter.com/camk_kumamoto) [E-mail] gamadas@camk.or.jp



- ・美術館入口(びぶれす熊日会館3階)まで、通町筋電停又はバス停から徒歩1分です。電車通り側歩道から、エスカレーター又はエレベーターをご利用ください。
- ・「びぶれす熊日会館」の駐車場は、数に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。